



2019 年 12 月 18 日



### 《 教皇フランシスコのことば 》

人生とは、  
何かを手に入れるための時間ではなく、  
愛するための時間なのです。

### 《 教皇フランシスコ来日 》

教皇フランシスコが 11 月 23 日から 26 日まで、日本を訪問されました。教皇の来日は、ヨハネ・パウロ II 世以来、38 年ぶりのことです。今回の教皇来日に際して掲げられたテーマは、「すべてのいのちを守るため～PROTECT ALL LIFE」でした。初のラテンアメリカ出身の教皇となられた教皇フランシスコは、長く貧困地域で奉仕活動をされた経歴をお持ちです。その経験を礎に語られた「すべてのいのちを守るため」の数々のメッセージは、教皇フランシスコの気さくなお人柄と相まって、私たちの心に深い印象を残しました。

(※教皇とは…カトリックの最高指導者。ローマの司教であり、イエス・キリストの代理者。)

### ○教皇来広と本校生徒の関わり

教皇来広の折には、広島平和記念公園での「平和のための集い」に出席する生徒、会場受付と案内のボランティアをする生徒、また世界平和記念聖堂での「パブリックビューイング」に参加する生徒と、約 150 名の生徒が関わらせていただきました。平和公園でボランティアとして活動した高校生は、海外からのお客様も多くいらっしゃったため、英語を使ったり、英語が通じない方には身振り手振りで伝わるよう工夫したりと、自分の役割を果たすべく精一杯行動しました。このような大きな行事での責任あるボランティアの経験と、また、教皇フランシスコからいただいたお言葉を、生徒一人ひとりが今後に活かしていけますように、生徒の感想をご紹介します。



- 今回の経験は、平和について考える機会になりました。教皇様のお話を聞いて、行動すること、声を上げることが大切だとわかりました。
- 平和を願う気持ちは世界共通だとわかりました。平和な世界を実現するために、私たちが行動しなければと思いました。



## ○広島教区 白浜司教様からのお礼のメッセージ

ノートルダム清心中・高等学校

神垣 しおり 校長

ご協力くださった教職員、生徒の皆さん

主の平和

教皇フランシスコの訪日が無事に終了しました。今回の訪問において、教皇はとくに被爆地の訪問を強く望まれ、広島平和記念公園で「平和のための集い」を開催することができました。この行事のために、貴重な時間を割いて、ボランティアに協力してくださった貴校の教職員、生徒の皆さんに、心より感謝申し上げます。

また、同時に「平和のための集い」への参加を希望されながらも、それがかなわなかった皆さんに、お詫び申し上げます。

教皇フランシスコが被爆地の広島と長崎で発信された平和や核廃絶のためのメッセージを心に刻み、これからもカトリック学校の皆さんの御助けをいただければと思っています。

略儀ではありますが、本状をもってご協力くださった皆さんへの御礼に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。

カトリック広島教区 司教 アレキシオ 白浜 満



## 2学期の活動から

### ○11月14日：高Ⅱボランティア学習

HRの時間を使い、車いすユーザー竹上先生による講演会と車いす介助実習を行いました。講演会では、車いす介助の実習体験と結び付けてお話を聞くことで、より理解を深めることができました。実習中は、広島市西区のボランティアサークル「男のつどい」の皆さんにアドバイスをいただき、2人組で校内を車いすで移動しました。生徒たちの感想には、「わずかな段差でも車いすがひっかかるので、移動に時間がかかった。」「後ろ向きでスロープをおりるのが怖かった。」「いままで段差が怖いとは思わなかったけど、初めて段差が怖いと感じました。」などとあり、実際に車いすを使ってみて、様々な気づきがあったようです。

### ○11月17日：国際フェスタ 中2ボランティア参加

国際協力機構 JICA 中国主催で、毎年「国際フェスタ」が開かれています。世界の国々の屋台やバザー、海外の文化体験コーナー、クイズラリーなどのイベントが開かれ、中2の生徒が文化体験コーナーにボランティアとして参加しました。コーナーはたくさんの笑顔であふれ、あたたかい交流の場となりました。



また、デイサービスセンター「かりん」へも訪問しました。歌を歌ったり、クイズをしたり、高齢者の方たちと一緒に楽しい時間になるよう、がんばりました。

## ○11月1日：創立70周年記念行事

1950年に創立された本校は、今年度、創立70周年を迎えます。節目の年をお祝いする行事は、中1から高IIまでの有志36名による創立記念行事準備委員会を中心に催されました。

第1部「これまでの清心」では、教員へのインタビューとエピソードに会場が盛り上がる中、清心の歩みを振り返りました。第2部「自分たちの未来を、自分たちでつくっていくために」で講師にお迎えしたのは、長く「クローズアップ現代」というテレビ番組のキャスターを務められた国谷裕子さんです。前半の「クローズアップ未来」と題したパネルディスカッションでは、国谷さんの的を射た質問を受けながら、2学期から始まった各学年・クラスのSDGsの取り組みを共有しました。第3部「描こう！10年後の未来図」では、オリジナル歌詞を加えた「believe」を全体で合唱し、未来へ向けて行動していこうという思いを皆で分かち合いました。

SDGsを指針とした未来に向けての取り組みは、今後も学校全体で継続します。ご家庭でも引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



## ～広島教区 白浜司教様からのお祝いのメッセージ～

ノートルダム清心中・高等学校  
創立70周年に寄せて

ノートルダム修道会によって1950年に創立されたノートルダム清心中・高等学校は、今年度70周年を迎えています。ここで学ぶ生徒の皆さん、神垣校長先生をはじめ、教職員の皆さん、同窓生の皆さんに、心よりお祝い申し上げます。

今年11月24日には、世界のカトリック教会の指導者であるローマ教皇フランシスコが、広島を訪れてくださいます。この歴史的な出来事が、ノートルダム清心中・高等学校の創立70周年目と重なったことは、神様からの大きなプレゼントではないでしょうか。

「あなたに、話がある」という言葉が添えられたポスターに写る教皇フランシスコは、優しくほほ笑んでおられます。教皇フランシスコは、わたしたちに、自分の方から一人ひとりに声をかけ、寄り添っていく生き方を大切にするように教えています。

「心を清くし、愛の人であれ」という校風を大事にしながら、人間の知的な面だけでなく、その心の清らかさに目を向けて、中・高一貫の6年間を過ごしておられる生徒の皆さん一人ひとりが、人間の心が問われる今の時代に、地球環境とすべてのいのちが大切にされる平和な社会を築いていく存在となってくださることを念願しています。

創立70周年という節目のときを迎えたノートルダム清心中・高等学校の益々のご発展と、ここで学ぶ生徒の皆さん、教職員の皆さん、同窓生の皆さんに、神様の豊かな祝福を祈ります。

カトリック広島教区司教 アレキシオ 白浜 満

## ○11月1日：学園慰霊ミサ（ミサ担当：高II）

今年度は、金神父様（カトリック廿日市教会）により厳かに式が執り行われました。全校生徒は、慰霊祭ミサに先立ち、高校Ⅲ年生がクラスごとに作成した命に関するスライドを視聴してミサに参列しました。そのため、今生かされている「命」の重みを感じながらミサに与りました。

生徒の感想をご紹介します。

- 「死を食べて生きている」という神父様の言葉から、亡くなった方の遺したものや生前行ってきただけの私たちが生きていく上での糧になっているのだと気づき、私たちの命は多くの「死」の上に成り立っているのだと思いました。
- 神父様のお話を聞いて、悲観的に考えてしまう「死」を、次の命につなげるための重要な役割と捉えてみるともっと違った考え方ができるのではないかと思います。

## ○12月2日～12月24日 待降節（アドベント）

学校ではクリスマス行事に合わせて、本来の待降節よりも一足早く11月25日から以下のようなクリスマス準備を始めました。

《全 校》

☆クリスマスソングの放送（朝と放課後）

クリスマスの聖書朗読とアドベントカレンダーめぐり（終礼時）

☆姉妹校やお世話になっている方々へのクリスマスカード送付

☆クリスマスツリーやクリブ（馬小屋）、アドベントカレンダー（カトリック研究会作成）の設置と各教室や廊下などの装飾

☆文具及び衣類集め：ノートルダム修道女会の施設があるジンバブエへ寄付

\*この活動は、年2回（5月・12月）行われています。

☆クリスマスミサ（担当：高I）

《学 年》

☆中1：クリスマスの祈りの集い（カトリック観音町教会）と広島夜回りの会へ物資援助

☆中1、中2：クリスマス飾りの作成と装飾

☆中3：クリスマスタブロー「Stella～星に願いを～」

☆高II：クリスマスカードの作成と送付

☆高III：学年合唱 「ハレルヤコーラス」



## 冬休み中の活動

### ○12月22日（日）14時より：カトリックフェア「クリスマスの集い 2019」

会場 エリザベト音楽大学セシリアホール

今年も、広島市内にあるカトリック学校（エリザベト音楽大学・広島学院・ノートルダム清心）がそろい、「ともに愛を届けよう」のテーマのもと、主の降誕を祝う集いを企画しています。この企画は、チャリティイベントでもあります。当日会場では世界の子どもたちの支援のための募金呼びかけを行い、カリタスジャパンに寄付する予定になっています。

本校からは、中学音楽部と高校合唱部の演奏、中・高カトリック研究会によるクリスマスタブローの上演が予定されています。

是非、ご家族でエリザベト音楽大学セシリアホールまでお出かけください。



### ○12月24日（火）16時より：クリスマスミサ 会場 クピリーホール講堂

毎年、クリスマスイブの夕方にクリスマスミサを捧げ、生徒、保護者、同窓生、教職員、そして近隣の方と一緒にイエスご降誕のお祝いをしています。ミサ後には生徒手作りのケーキとクッキー、紅茶を召し上がっていただきながらの楽しい茶話会も準備しています。ミッションスクールならではのクリスマスのお祝いにご家族でお越しください。お待ちしております。

### ○12月25日（水）：八幡学園クリスマス会

今年も高IのNDA委員が広島学院の奉仕委員と合同でクリスマス会を企画しています。八幡学園の子どもたちが楽しめる会となるよう、皆で協力して準備に励んでいます。

次号発行は3学期末の予定です。なお、今年度も日本のカトリック学校の保護者に向けて年3回発行されている「よき家庭」を配布いたします。こちらも合わせてお読みください。カトリック教育探究部